

第4回世界エンジニアリングデー

技術者の役割・未来

～若手技術者の活躍～

令和5年3月4日

株式会社帝国コンサルタント
西野 亜海

自己紹介

- ◆ 福井工業高等専門学校 環境都市工学化 卒業（2017年）
- ◆ 株式会社 帝国コンサルタント 入社（同4月）
- ◆ 設計を主とする部署に所属し、現在は河川分野の業務に従事
- ◆ 所有資格 技術士（建設部門）
令和3年度試験に合格（合格当時25歳）
- ◆ 現在 26歳（入社6年目）

【テーマ】

建設コンサルタントの課題と若手技術者

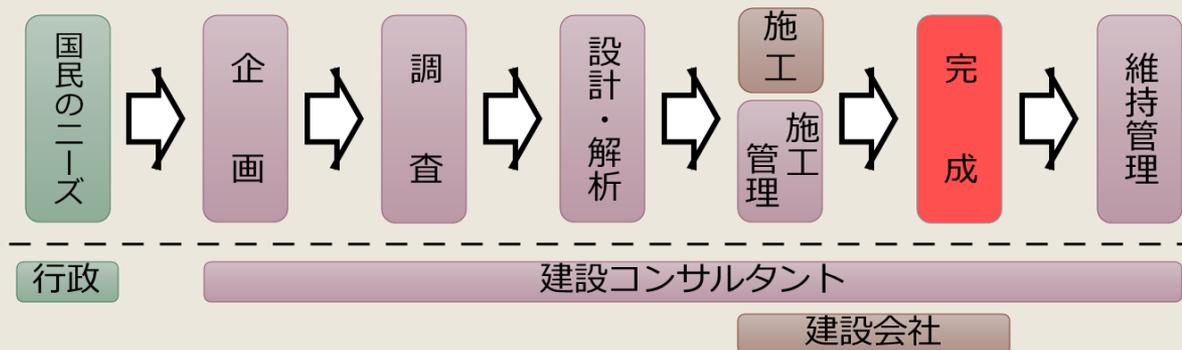
建設コンサルタントとは

◆ 専門的な知識と技術で課題解決のサポート

専門的な知識と技術で国土交通省や地方自治体が抱えている課題解決のサポートを行い、事業者に代わり企画・調査・設計を行う企業・技術者
必要となる主な資格は技術士、RCCMなど

◆ 建設コンサルタントの役割

- 技術力を活かして社会資本の整備、その活用について提案
- 道路、公園、河川などの様々な分野で技術提供
- よりよい社会の実現に貢献

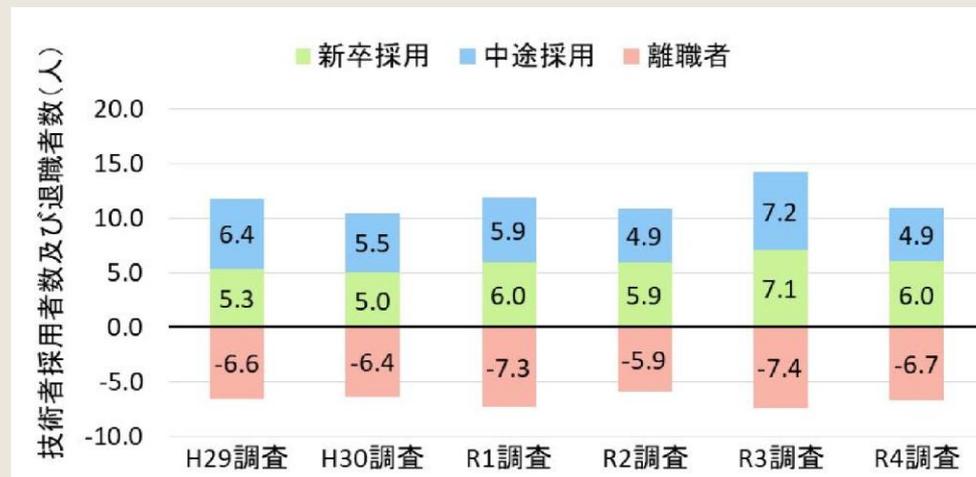


建設コンサルタント業界の課題

① 担い手の確保・育成

建設コンサルタントの技術者は若手技術者の減少により
高齢化が進んでいる

⇒技術の継承が困難となり将来における社会資本整備や維持管理に
重大な懸念が生じている現状（生産力の確保が必要）



建設コンサルタント業界の課題

① 担い手の確保・育成

担い手確保のための対策として、下記の対策を実施

1. 「働き方改革」に基づく就業環境に向けての取組強化

就業環境改善対策の実施、Web会議システムの活用など

2. 建設コンサルタントの魅力向上

若手技術者や女性技術者が活躍できる環境整備

3. 報酬・積算体系の現状と改善

建設コンサルタントが魅力ある業界として担い手を確保・育成していくためには適切な報酬が得られる業界であることも重要

担い手確保



技術力の継承

建設コンサルタント業界の課題

② 社会や環境の変化

建設コンサルタントの技術者が行う業務

1. 災害対応
2. 既存インフラ設備の維持管理

【現状と対策】

- 地球温暖化などの環境の変化により、激甚災害が増加
⇒大規模災害に対応するための体制づくりの実施
- 高度成長期に建設された施設が多く、施設の老朽化
⇒効率的なインフラ設備の維持管理手法の構築
i-Constructionの推進、BIM/CIMの活用

建設コンサルタント業界の 今後のあり方

課題解決や変化していく社会に対応していく

- SDGsへの取組
- DX推進
- グリーンインフラの推進
- 防災・減災・国土強靱化への対応
- アフターコロナへの対応

若手技術者として

- 社会や環境の変化に対応
⇒ 今後技術力をさらに高めていき、将来の社会資本整備や維持管理に関わっていく
- 若手かつ女性という立場
⇒ 建設コンサルタント業界における新卒採用や女性の雇用に貢献（担い手の確保）
魅力度向上のための活動を実施
- 技術士としての活動
⇒ 25歳で技術士を取得（建設部門の女性技術士の割合は2.5%程度）
技術士の認知度向上や取得支援

ご清聴ありがとうございました